

登録コード	HB392300	開講年度	2026					
授業題目	低侵襲血管外科学特論					担当教員	瀬戸 達一郎 他	
英文授業名	Minimally invasive vascular surgery					副担当	市村 創	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	1～3年
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HB4年制加							
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能					現代の医療は、単に病気を治すというだけでなく、治療に伴う身体への負担をできるだけ軽減し、そのうえでさらに効果的な治療を行うという低侵襲医療を目指す時代となった。血管外科領域においても、デバイスの進化や手術方法の改良により様々な方向から手術の低侵襲化が図られている。これらの低侵襲医療について、深く理解し現状の課題について説明できるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	現代の医療は、単に病気を治すというだけでなく、治療に伴う身体への負担をできるだけ軽減し、そのうえでさらに効果的な治療を行うという低侵襲医療を目指す時代となった。血管外科領域においても、デバイスの進化や手術方法の改良により様々な方向から手術の低侵襲化が図られている。本講義では血管外科領域における低侵襲手術について総観を示す。							
(3)授業の概要 /Overview of course	心臓血管外科領域における低侵襲手術について概論を示した後、人工臓器、ステントグラフトなど血管内治療、再生医療など個々の事例について学ぶ。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。							
(4)授業計画 /Course plan	(オムニバス方式 / 全15回) 1回 血管外科学概論 2回 低侵襲手術とは 3回 人工臓器；人工血管の進歩 4回 人工臓器；人工弁の進歩 5回 ステントグラフト留置術（腹部） 6回 ステントグラフト留置術（胸部） 7回 ステントグラフト留置術（胸腹部） 8回 ステントグラフト留置術（大動脈解離） 9回 閉塞性動脈硬化症；血管内治療 10回 閉塞性動脈硬化症；ハイブリッド治療 11回 内臓動脈瘤に対する低侵襲治療 12回 腎臓疾患に対する低侵襲治療 13回 下肢静脈瘤に対するレーザー治療 14回 心拍動下冠動脈バイパス術 15回 再生治療							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	レポート							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	提出されたレポートにおいて心臓血管外科領域における低侵襲治療の概略（概念、手術方法、適応、手術合併症）を述べることでできた場合を可（合格水準）とする。さらに各術式における最近の論点について問題設定を行い、自ら情報収集を行いレポートできた場合、「卓越している」と評価する。問題設定のみ行い情報収集が不十分な場合「やや上にある」と判断し、情報収集ができたものの考察ができていない場合は「かなり上にある」と判断する。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	特になし							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜受け付けています							
(9)授業の形式 /Course format	講義							
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない							
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない							